

湯前町

町立小中学校に係る校務 DX 計画

1 趣旨

湯前町では、GIGA スクール構想に基づき、令和元年度から ICT 環境の整備を進めてきました。しかしながら、教育現場では業務の複雑化や負担増加といった課題が依然として存在しており、効率的な校務運営が求められています。

これらの課題を解決するため、本市町村では教職員の働き方改革の一環として、校務のデジタルトランスフォーメーション (DX) を推進し、業務の効率化や負担軽減に向けた具体的な取り組みを進めることとします。

2 課題

- ・校務系・学習系の異なるネットワークが整備されている。各教職員が、校務用と指導用の 2 台の端末を使用しており、管理面・コスト面での負担が大きい。
- ・教育委員会主催の研修をハイブリッドまたはオンデマンド視聴を取り入れずに対面のみで実施している。
- ・セキュリティの関係で、教育委員会と学校が共有できるクラウドツールの導入が難しい。
- ・指導要録、出席簿、健康診断票等の各種公文書や台帳等におけるデジタル化に関する規定を定めておらず、あいまいになっている。
- ・統合型ではない校務支援システムを導入しており、セキュリティの関係で名簿情報等手入力作業が発生している。

3 取組方針

- ・教育委員会主催の研修にて、ハイブリッドやオンデマンド視聴を取り入れ、教職員の働き方改革につなげる。
- ・働き方改革、ペーパーレスの推進の観点から、電子決裁や簿冊等の電子管理等を行うための文書管理システムの導入を役場情報担当とともに検討していく。
- ・教育委員会と学校間の迅速かつ円滑な情報共有ができる環境を整えるため、クラウドツール導入の検討を進める。

- ・令和8年度に校務支援システムの更新を予定しているため、次世代型校務支援システムを導入することで業務の効率化につなげる。また、校務系と学習系のネットワーク統合に向けて検討を進める。
- ・教育に関わる公文書のデジタル化に関する規定を定め、デジタル化の推進を図るとともに、適切な文書管理を行う。
- ・ICT機器を活用し、校務支援システムへの名簿情報等の不必要な手入力作業は一掃していく。
- ・FAXや押印の廃止は実施済みであり、今後も推進していく。